



'To acknowledge the duty that accompanies every right'
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,
 OSAKA, JAPAN

2014年10月No.389

Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2014~2015)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『多くの扉を開き感動を共に』 国際会長 : 『言葉より行動を』 アジア地域会長 : 『未来を始めよう、今すぐに』 西日本区理事 : 『響き合い、共に歩む』 中西部部長 : 『YMCA・ワイズ共に若者、社会に光を』	会 長 : 芝田 光雄 副会長/書記 : 何 早林 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 大村 肇 メネット会長 : 坂本 千春 Y連絡職員 : 鍛治田千文

Biblical Message of October

時に主は下って、人の子たちの建てる町と塔とを見て、言われた。「さあ、われわれは下って行って、そこで彼らの言葉を乱し、互いに言葉が通じないようにしよう」。これによってその町の名は「バベル」（混乱）と呼ばれた。主がそこで全地の言葉を乱されたからである。

(創世記 11 章 5-9 節)

October Club Meeting

『BF』

10月第1例会（香港ナイト）

日 時 : 2014年10月15日 (水) 18:45~20:45
 場 所 : 中国食府 双龍居 天満駅前店
 大阪市北区浪花町 1-24 JL 天満駅前ビル 1~4F
 電話 06-6377-8808 (JR 天満駅徒歩 1 分)
<http://r.gnavi.co.jp/k192601/>

司 会 : 坂本 哲朗 君

- | | |
|------------------|--------------|
| 1.開会 | 芝田 光雄 会長 |
| 2.ワイズソング | 一 同 |
| 3.今月の強調月間 | 谷川 寛 君 (代理) |
| 4.聖句朗読 | 谷川 寛 君 |
| 5.ゲスト紹介 | 芝田 光雄 会長 |
| 6.晩餐 | 一 同 |
| (栗原広和社長による料理の説明) | |
| 7.卓話「香港よもやま話」 | 藤原正巳君 & 何早林君 |
| 8.連絡・報告・ニュース | 各メンバーから |
| 9.誕生祝い・ニコニコ献金 | 一 同 |
| 10.閉会 | 芝田 光雄 会長 |

※会費 : 一人 4 千円 (アルコール別)

お誕生日 : 該当者なし

例会担当 : 第 3 班 = 石津、岡本、隅田、谷川、松浦、三浦の各メン

※班担当者は 30 分前には来てください。

10月第2例会



日時 : 2014年10月22日(水) 18:30~20:30

場所 : 土佐堀YMCA会館4階

情報過多は悪いことではない

井上 文輔

Facebook の友達欄で変化が起こっている。香港の友人達がプロフィール写真を同じものにした。黒地に黄色のリボン。彼らは選挙制度をめぐる中国政府の決定に反発し、抗議活動を実施している。詳細は省かせて頂くが、彼らの発信する情報は身近に感じるし、胸が熱くなる。誰もが発信者となり情報を提供できる環境となったひとつの結果だ。ここ数年、特に 2010 年のジャスミン革命以降はこういった動きが顕著であったが、今回は過去のものとは違い、高いネット普及率と近代都市といった点がどのように影響を及ぼすのか、大変興味がある。

情報のやり取りには、文通や E メールでつなぐことは可能であったが、現在は SNS 等を利用すると、リアルタイムで可能だ。スマホで写真、動画なども次々とアップしており、より身近でリアリティが高い情報が手に入る。翻訳機能も充実しており、中国語のコメントが日本語に変換されるので、情報がダイレクトにくる。この状況は情報過多であり、「取捨する能力」がないと取り上げられているが、1way の情報よりは価値があるように思う。そして友人達の情報も感じることができる。

文明の発達に適應する能力が問われているのは、いつの時代でも変わらない。4 歳の息子が PC マウスを器用に使う姿を見て、本当にそう思う。

(次号は隅田保さんです)

【クラブ統計 Statistics】

9 月		種 別	第 1 例会	第 2 例会	BF ポイント		ニコニコ献金	
在籍会員	20 名	メ ン	16 名	8 名	9 月	400g		
例会出席	16 名	メネット	5 名	0 名	現 金	0 円	9 月:	16,800 円
うちメーキャップ		ビジター	0 名	0 名	累 計			
	0 名	ゲ ス ト	0 名	0 名	切 手	5,767g	累 計:	55,200 円
出席率	80%	合 計	21 名	8 名	現 金	0 円		

このパベルの塔の話は、人間の思い上がりに対して、神が罰をくだされた例だといわれています。塔を建てて、その頂を天に届かせよう、神のようになろうという人間の試みをつまずかせるために、神は人間の言葉を乱されたといわれています。その結果、それまで皆一つの言葉を話していましたが、人々の間のコミュニケーションができなくなり、塔を建てるというプロジェクトも失敗しました。

聖句選/コメント：谷川 寛
(次号は石津雅人さんです)

9月第1例会報告

と き：9月17日(水) 18:45~21:00

ところ：ホテルグランヴィア大阪 20階

今月のメネット例会は、ゲストを含め23名が集まり、坂本千春メネットの司会で開催しました。

まず、「岡崎八丁味噌」ファンドの紹介を山中メンがした後、藤原メンが、香港のボヒニアクラブとのIBC交流を提案。

晚餐の後、千春さんが陶芸教室で知り合ったというフリーランス・イラストレーターの木本悦子さんに、「画家による絵本読み聞かせ」と題し、自身のボランティア活動のお話と、実際に絵本を読んでいただきました。

木本さんは自身の子どもが小学生の時に、子どもたちに絵本を読み聞かせるボランティア活動を始めたそうです。子どもが卒業した後も続けて10年。感情を入れず、色も付けず、自分の解釈を入れず、淡々と読むことを心がけているとのこと。活字離れをしていく子どもたちに、絵本の絵の力で、惹きつけていければと語る木本さんの熱意に、私たちも大いに共感。「ルピナス」と「おやすみなさい、お月さま」の2冊を読んでいただき、私たちも童心に戻って、絵本の魅力を再認識しました。

(中村 茂高)



私たちもなつかしい絵本の世界に、おもわず童心に戻る

BF 報告

- ・谷川メン 20g
- ・松浦メン 10g
- ・山田メン 15g
- ・中村隆メン 355g

合計 400g

(中村 隆幸)

9月第2例会報告

と き：9月24日(水) 18:30~20:10

ところ：大阪 YMCA 会館4階

出席者：石津、大村、芝田、中村茂、松浦、山田、三浦、
山中の各メン

報告/審議事項

- ① とさぼりカーニバルの件、11/3(祝)大阪 YMCA 会館。岡崎八丁味噌食品の出店とウクレレクラブの演奏披露。
- ② 表コミお茶会の件、11/25(火) 14:50~15:40 芝田会長から実施案を提案、メネットの協力を求める。
- ③ 香港IBC交流の件、2/7(土)~9(月)・2泊3日
- ④ センテニアル寄席の件、3/7(土) 14:30~16:30 チラシ千枚を外部印刷。完成は11月末予定(石津)。
- ⑤ イベントの企画の件、ハイキングかイチョゴ狩りを4、5月に企画(坂本)。宝塚の正司邸の「ばら苑」訪問(山中)。来年8月の納涼例会を西クラブと合同例会(芝田)。
- ⑥ クラブリーフレットの件、10月第1例会で確認。
- ⑦ チャリティーランの件、10/13(祝)長居公園。グループランに参加。クラブから2チーム。6万円。
- ⑧ EMCフォーラムの件、10/18(土)、大阪 YMCA 会館 出席予定：石津、大村、松田、山田、山中の各メン
- ⑨ 11/16 ハワイ・ヌアヌクラブ50周年例会に祝電。急きよ谷川夫妻出席。(議事録より抜粋)

⇒ Club Activities (September, 2014) ⇒

On September 17, our club's September meeting was held at Hotel Granvia Osaka, with a total of 23 Y'smen, Y's menettes and a Y's ling (one year old baby girl) in attendance.

With its emphasis on "Y's menettes' activities" this month, Ms. Chiharu Sakamoto and other Y's menettes presided over the meeting.

During dinner time, two announcements were made by Mr. Hideo Yamanaka and Mr. Sam Fujiwara.

Firstly, Mr. Yamanaka proposed a new method of fund raising, selling a famed Haccho miso (bean taste) produced in Okazaki, Aichi Prefecture. Mr. Yamanaka is an PR ambassador of the Prefecture.

Secondly, Mr. Fujiwara explained a plan to visit Hong Kong possibly in next February.

These proposal and plan will be discussed more at our next business meeting to be held on September, 24.

The highlight of the meeting was a speech made by Ms. Etsuko Kimoto, a painter and close friend of Ms. Chiharu Sakamoto.

Titled on "Reading of illustrated books to small children by a painter", Ms. Kimoto gave a demonstration of reading the two well known American books to us, viz, "Good Night Moon" written by Ms. Margaret Wise Brown and "Miss Rumphius" by Ms. Barbara Cooney Porter. As she read these books very gently without any particular emotion, her demonstration was actually very persuasive to all of us.

She usually made this reading demonstration to small children at a library of her home town as a volunteer and we were strongly convinced that children might have a good custom of reading books gradually.

Yen 16,580 was collected for our club's niko-niko (smiling) fund at the meeting which was donated to our Y's menettes' society as usual.

谷川 寛

「セントラル・パークの野外コンサート」というとニューヨークの夏の風物詩です。2013年、秋たけなわの11月までの毎週、土曜日にセントラル・パークのなんと30カ所で、30のグループが同一セット・リスト18曲を演奏しました。この企画は毎年続くそうです。セット・リストには、”Autumn in New York,” ”Take the “A” Train,” “Central Park West,” “Fall,” など、秋やニューヨークにちなんだジャズ・スタンダードやオリジナル曲が並んでいます。30グループがすべて異なるアプローチで聞かせてくれます。

私達は、今回は残念ながら聞くチャンスを逃しました。これは Jazz& Colors Festival と呼ばれていて、公園内にその演奏場所の表示が、いたるところに出ています。

土曜日以外でも、セントラル・パークを散策していると下の写真のような小グループが演奏しているのに出会います。紅葉に染まるセントラル・パークを音楽で彩る楽しいひとときです。今年の秋は、ニューヨークまで、ジャズを聴きにぜひお出かけになりませんか？遅々、行く価値は充分あります。



紅葉に染まるセントラル・パーク。音楽を楽しむひととき

YMCAニュース

☆とさぼりカーニバル拡大実行委員会

今年度も11月3日(祝・月)にとさぼりカーニバルを行います。今年もよろしくお祈りします！

☆YMCA/YWCA 合同祈禱週

世界YWCA/世界YMCA 同盟は、毎年11月の第二週目に合同祈禱週として、1904年以来、ともに祈ってきました。

日時：11月13日(木) 18:30～
場所：大阪YMCA会館 チャペル
テーマ：Bold and Transformative Leadership

鍛冶田 千文

第18回中西部部会に出席して

松浦 孝次

○9月20日午後、大阪クラブがホストクラブとなり、大阪キャッスルホテル3階「錦城閣」で開催。末岡・大阪YMCA総主事、松本・西日本区理事をはじめ、他部からも多数の方々の出席がありました。

わがクラブからは、芝田会長以下 メン 11 人、メネット4人が出席。中西部のメンバーとはもちろんのこと、他部のメンバーとも交流を図ることができました。

清水・中西部長の開会点鐘と挨拶。末岡・総主事、松本・理事の挨拶で幕を開け、5人の事業主査、わがクラブ芝田会長をはじめとする9クラブの会長による活動報告が行われました。

芝田会長からは、楽しくかつ学びがあるクラブワークを心がけていること。ボヒニア香港クラブとの交流を計画中であること。当クラブメンバーによる「ハネリー・ウクレレバンド」を結成して活動していることなどが報告されました。

○圧巻は、第3部のソプラノ歌手・岡田由美子さんの迫力にとんだ歌唱。「祈り」(大震災復興支援曲)、「アベマリア」(カッチーニ作曲)、「希望の歌」(ベートーベン作曲)とすべて、震災や風水害に被災された人々を癒す歌であり、心に染み入る感動がありました。最後に「花は咲く」を、なお復興途上にある被災地の人々に想いを寄せながら全員で歌いました。

続く柏木哲夫教授(元大阪大学教授、淀川キリスト教病院理事長)の「いのちに寄りそう」の講演は、大変示唆に富む内容でした。「寄り添う」は人の横からの行動で、「技術は不要だが、共感する、思いやる、耐える、ユーモアなどの「人間力」が必要になる」とのこと。被災者や高齢者のケアが一層重要になっている折から、「納得」でした。

○続く「懇親会」では、「錦城閣」が誇る中華料理をおいしく頂きました。満足しました。全体に、いい感じの部会でしたが、強いて言えば、会場が横に長いので、交流にやや動きづかったことくらいでしょうか。

○なお、部会に先立ち「中西部合同メネット会」が同会場で開催され、わがクラブからは、メン3人を含む7人が出席しました。

中岡亜希さんから、客室乗務員であった25歳のとき「遠位型ミオパチー」(筋力が低下する難病)を発病し、車いすの生活を余儀なくされながらも、車いすで富士山に登頂したという経験を語られ、こうした希少難病対策の施策を国に要望している小泉二郎氏の講演と合わせ、希少難病とその対策の重要性について認識を深めました。

○年1回の部会、「参加してよかったな」という感想であります。



新調したバナーを前に、中西部部会に参加するメンバー



ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

《会員、メネットからのメッセージ》

- 楽しいメネット例会でした。木本さんの絵本の読み聞かせ、子供に戻ったようです。(大村 肇)
- 娘(莉玖)にもたくさん本を読んであげたいです。(岡本 剛介)
- 私が活字離れをしてしまっているので、子供はそうならないように毎日絵本を一緒に読むようにしたいと思います。(岡本 麗香)
- 連休に仲間と阿南に行きました。中学以降、親と宿泊しなかった息子も参加、「奇跡」の阿南でした。スタンディングボードはとても楽しかったです。(鍛治田千文)
- 香港にいけるのを楽しみにしています。(坂本 哲朗)
- 今日はメネット例会で私の友人にスピーカーになってもらいました。嬉しい例会でした。(坂本 千春)
- メネット例会に相応しい木本様の素敵な語り部！交野市の図書館で開催される時、千春様知らせて下さい。有難うございました。(芝田 光雄)
- ワイズメネット例会、木本悦子さんのお話、大変楽しかったです。(谷川 寛)
- 久しぶりに例会に出席しました。出席の皆様方の優しいお顔に会えてとてもうれしい思いをしました。本日の卓話は、木本悦子さんの「絵本の読み聞かせ」という珍しいお話。人の心を動かす素晴らしい読み方もあると感じました。2人の子供が小さい頃、毎夜本を読んでいたことを思い出し、胸が熱くなりました。(谷川有美子)
- 八丁味噌の美味しさ、今更ながら分かりました。りくちゃんのおんよを初めて見ました。(中村 幸枝)
- メネットナイト、活字離れが叫ばれる昨今ですが、とてもタイムリーな、よい企画だったと思います。香港旅行を提案させて頂きましたが、想定より多くの皆様のご参加が頂ける由で、大変嬉しく思っています。まとまった数の部屋や座席がとれるか逆に心配になってきましたが、皆様のご期待に添えるようがんばります。(藤原 正巳)
- 子供にもっと本を読んでほしいです。香港旅行楽しみです。(何 早林)
- 香港ナイト(10月)、香港ツアー(来年2月)、いずれも楽しみなことです。木本様の画家としての歩み、母親として図書読み聞かせボランティア、粘り強い活動。とても私にはできないことだと感嘆しました。(松浦 孝次)
- 今日は木本さんの手遊びから始まり、絵本の読み聞かせ、大変楽しかったです。香港旅行、センテニアルのメンバーで行けるのがとても嬉しいです。(松浦 和子)
- 木本悦子さんの絵本の読み聞かせのお話、大変良かったです。絵も美しく、素晴らしかった！(三浦 直之)
- 木本悦子さんの絵本の読み聞かせ、なかなか難しいものだと分かりました。トントントントンの歌は、幼稚園未就学児にとっては初めてのパフォーマンスです。(山中 秀男)
- 成長する莉玖ちゃんを例会ごとに楽しみにしています。絵本の読み聞かせ有難うございました。(山中ちあき)
- 今年も「チャリティーラン」が近づいてきました。80歳を過ぎた自分の年を忘れて、皆さんの仲間であらわされてもらいます。とても速くには走れませんが、“完走”できるようがんばりますので、よろしく。。。 (山田 孝彦)



画家として木本さんの色あざやかな絵画

後 記

御岳山の噴火に、台風の襲来と、災害大国日本を象徴するかのような毎日ですが、ようやく過ごしやすい気候となりました。

「香港ナイト」、「香港 IBC 交流」のタイミングで、選挙制度を巡り、香港で大規模な抗議デモが勃発しました。「民主主義」「表現の自由」「普通選挙」といった、欧米社会では当たり前の価値観を訴える数万人の学生らが香港中心部の幹線道路を封鎖する事態となり、警官隊の催涙ガスが学生に向けて発射、その映像の様子は、1989年の民主化を求めた学生が軍に鎮圧された天安門事件を彷彿とさせます。

この香港の抗議デモを支持する市民集会は、米ロサンゼルスやシンガポール、フィリピンなど世界各地に広がっているようです。

井上メンの巻頭言にもあるように、ネットの普及で、世界にゴマカシようがなくなった現代、どのように事態が収束するのか注目したいところです。

(S. N)

